

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

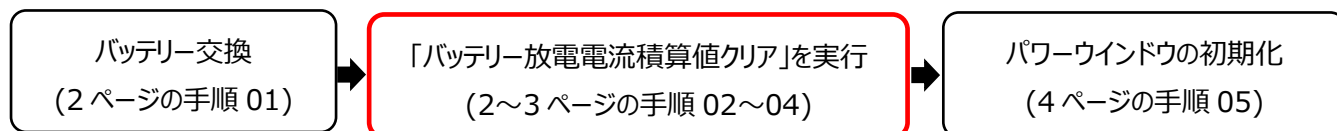
日産/アイドリングストップ車のバッテリー交換後に行う「バッテリー放電電流積算値クリア」 (ノート/E12での例)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1. バッテリー放電電流積算値クリアについて

- アイドリングストップを採用している日産車ではバッテリーを交換したあとに作業サポート「バッテリー放電電流積算値クリア」を使用する車両があります。
- また、バッテリーの交換にともないバッテリーのマイナス端子を外した場合はパワーウィンドウなどの初期化が必要になります。
初期化が未実施の場合、パワーウィンドウの挟み込み防止機能、オートアップ作動機能、タイマー作動機能は作動しません。
- 本書ではノート(E12)での「バッテリー放電電流積算値クリア」の手順を紹介します。



- 2026 年 7 月現在、HDM-10000 用日産ソフトの「バッテリー放電電流積算値クリア」の対象車両は下表の通りです。

車両名	基本型式	販売開始時期	備考
マーチ	K13	2010 年 7 月～	
キューブ	Z12	2012 年 10 月～	
ノート	E12	2012 年 9 月～	e-POWER 車ではバッテリー放電電流積算値クリアは不要です。
ジューク	F15	2013 年 8 月～	
スカイライン	V37	2014 年 5 月～	ハイブリッド車ではバッテリー放電電流積算値クリアは不要です。
セレナ	C26	2010 年 11 月～	・サブバッテリー交換時は「サブバッテリー放電電流積算値クリア」を使用します。
	C27	2016 年 8 月～ (S-HYBRID)	・e-POWER 車ではバッテリー放電電流積算値クリアは不要です。
エクストレイル	T32	2013 年 12 月～	ハイブリッド車ではバッテリー放電電流積算値クリアは不要です。

(次ページに続きます)

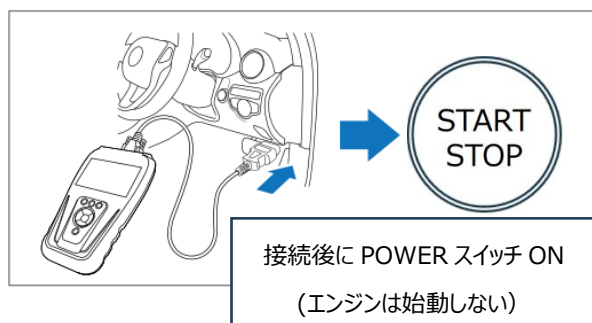
2.HDM-10000 による「バッテリー放電電流積算値クリア」(ノート/E12 での例)

【手順 01:バッテリーの交換】

整備解説書の手順に従いバッテリー交換を行ってください。

【手順 02:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側 POWER スイッチを ON にしてください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 03:メンテナンスモードの起動から ISS バッテリー交換の起動まで】

- ①特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されたら「日産/インフィニティ」を選択し、画面の右側の一覧で「ISS バッテリー交換」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「しばらくお待ちください」が表示されたあと「車両選択」が表示されます。「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。「インシャライズ中・・・しばらくお待ちください」「システム確認中しばらくお待ちください」の順番でメッセージが表示されたあと「ISS バッテリー交換」の機能選択画面が表示されます。



車両選択の各項目の詳細は 2026 年 2 月 6 日発行のバージョンアップ案内を参照ください。(ここをクリックしてください)

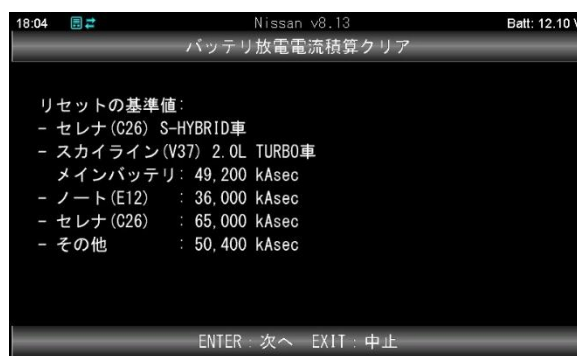
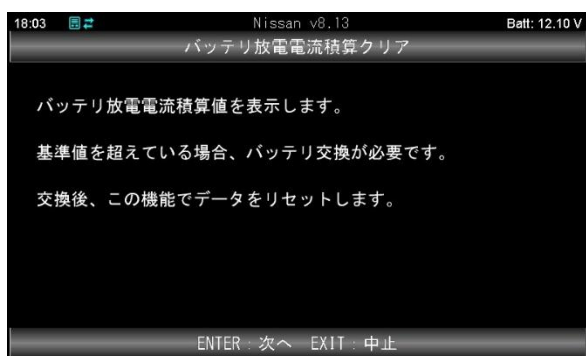
(次ページに続きます)

【手順 04:メンテナンスモードの起動から ISS バッテリー交換の起動まで】

- ①「ISS バッテリー交換」の機能選択画面で「バッテリー放電電流積算値クリア」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②機能の説明が表示されたら、内容を確認して ENTER キーを押してください。次に「リセットの基準値」が表示されるので内容を確認して ENTER キーを押してください。



- ③「イニシャライズ中…しばらくお待ちください」の表示に続いて車両が現在記憶しているバッテリー放電電流積算値が表示されます。内容を確認して ENTER キーを押してください。



- ④「イニシャライズ中…しばらくお待ちください」の表示に続いて「正常に完了しました。」が表示されればバッテリー放電電流積算値クリアは完了です。



(次ページに続きます)

【手順 05/パワーウィンドウの初期化】

ノート(E12)でバッテリーのマイナス端子を外してバッテリー交換を行った場合は下記手順でパワーウィンドウの初期化を行ってください。※

※その他の車両の初期化を行う箇所、手順は自動車メーカー発行の整備解説書をご参照ください。

パワーウィンドウの初期化手順

手順 1:初期化設定

- ①POWER スイッチを ON にします。
- ②パワーウィンドウスイッチを操作してガラスを半開以上にします(すでにガラスが半開以上の時、この操作は不要です)。
- ③パワーウィンドウスイッチをオートアップ作動位置まで引き上げ続け、ガラスが全閉位置で停止した後もスイッチを2秒以上引き上げ続けてください。
- ④オートアップ作動点検を実施し、正常に動作することを確認してください。

手順 2:挟み込み防止機能点検

- ①ドアガラスを全開にしてください。
- ②木片等を全閉位置付近に設置してください。※1、※2、※3
- ③オートアップでドアガラスを全閉作動させて下記㊦㊧を確認してください。
 - ㊦木片等を挟み込まずにガラスが反転し、約 150mm下降した後、停止することを確認してください。
 - ㊧反転下降中、パワーウィンドウスイッチを操作してもガラスが上昇しないことを確認してください。

※1:下記①～③の点検においては、絶対に身体の一部を挟み込ませる様な点検は行わないでください。
また身体の挟み込みに、ご注意ください。

※2:手順 1 の初期化を行った場合はオートアップ作動機能が作動することを確認してから挟み込み防止機能点検を行ってください。

※3:オートアップ作動機能、挟み込み防止機能がうまく作動しない場合は手順 1 の初期化設定を実施してください。

(2026.07.15 発行)